

新幹線 多目的室 予約利用

新幹線を使った搬送は、費用を抑えるだけでなく、プライベートも守られ、揺れも少なく、快適に移動できる手段です。重篤な方の搬送も、看護師同乗なら可能です。医療機器や酸素の持ち込みも OK 民間救急車両での高額な搬送見積りでお悩みの方は、ご相談ください。

※注意点

組織が大きいので伝達ミスリスクあり

乗れなかった、降りれなかった、多目的室が使われていた

■柔軟に対応できるスタッフの同行をお勧めします



多目的室利用の必需品

枕、タオルケットなどは必需品となります。ご家族様など用意して乗車してください。全介助の方を移送する場合は、下に移乗用のタオルケットを敷いておくと、移乗が楽になります。駅ホームには外気を避ける「待合所」などございます。



新幹線「多目的室」ベットの状態 2名分の座席予約となります



車椅子のまま使用することも可能です。新幹線への乗り入れはスロープを設置して乗車



各駅貸し出し 車椅子 車椅子がなくても駅での貸し出しがございます。



エントランスは広く機材も置けます。車掌に申し入れブランケットなど借りられます



医療処置など行いながら移動可 診断書などの提出制限なし



多目的室の定員は2名 その他の付添い者は近くの座席「指定席」を購入する



駅ホームストレッチャーでの移動可 但、ストレッチャー不可の駅もあり、事前確認必須



持ち込み酸素ボトル 1人 = 2本まで
ボトルの容量の制限は特になし



点滴、人工呼吸器など、医療機器の持ち込み OK 電源の保証なしバッテリーを用意する